

TNC
通信

2023
11月号

**中秋名月祭に
崔為磊氏参加**

10月14日午前、国際センター2Fで宮華連主催の「中秋名月祭」が開かれ、新任の崔駐新潟総領事など多数が出席した。



**「街道まつり」にぎ
やかに開催！！**

秋晴れの10月1日、恒例の「富谷宿・街道まつり」が「とみやど」を主会場に開催されました。今年も、「上海邨」さんの全面協力と、会員の皆さんの応援・協力のおかげで大成功の一日となりました。また留学生も男性3人(写真⑤の左側)も参加しました。

ステージでは音楽、ダンス等楽しい催しとなりました。また仮装コンクールでは富谷市日中のメンバーの奥山さん、小野寺さん、越川さんによる水戸黄門御一行(写真⑥)がベストマッチ仮装賞(第3位)となりました。大変、お疲れさまでした。
※なお皆さん、ご来店、ご協力いただきありがとうございました。残念ながらすべてを写真でカバーできませんことをお許してください。

4年ぶりに「富ヶ丘公民館まつり」を11月1日(日)に開催します！！

中国語講座の会場となっている富ヶ丘公民館のイベントが4年ぶりに行われます。富谷市日中では講座メンバーが中心となり、本年は「中国茶コーナー」ではなく、中国写真の展示と中国語クイズを行います。午前9時から夕刻まで行っており、他のサークルの発表・展示などもあり楽しめます。お気軽においで下さい。

『考えて、考えて、考える』(丹羽宇一郎、藤井聡太著 講談社文庫、748円)



中国に触れている箇所はわずかだが、がタイムリーなことに日中友好協会・丹羽会長と藤井八冠との対談が文庫で発刊された。藤井氏は丹羽氏との対談で多くを学んだ、と語り、将棋は結果すべてを個人で負う、経営や組織を背負って立つ決断の重みは共通する。それがタイトルとなった“考えて、考えて、考える”であった、と。「強くなる」ために何をするか、「勝つこと」が一番ではない、「学びの本質」等、実は本書は16歳から、3、4年を通じた対談、63歳差である事に驚きを感じた。(M)

宮城華僑華人女性聯誼会で「グローバル趣味運動会」を企画、参加者募集！

11月5日(日)9時半～12時半 富谷・東向陽台公民館大ホール。ご家族、ご友人とどうぞ。
＜申し込み＞info.mcw2016@gmail.com

魯迅の87回目の命日にあたる10月19日、仙台魯迅先生顕彰会(郡・仙台市長)と県協会主催による「碑前献花式」が行われました。県協会からは佐々木会長等があいさつ。学友会の王さんが横笛3曲を演奏しました。また留学生との昼食交流の後、女性委員会では東北大学・階段教室等の見学会を企画しました。



§「中国国歌・義勇軍行進曲」§

大阪府日中・副会長の戸毛敏美さんの著書が送られてきた。その中の一文に「中国の国歌に思う事」がある。中国国歌は「立て！ 奴隷となりたくない者は！…」で始まる、抗日戦争映画の主題歌である。三年ほど前の『人民日報』にある軍楽隊長から「血と肉で長城を築こ

老花鏡

う」とか「今最も危険な時に至っている」とか、血生臭く、今の実情に合わないのでは、と提案があったが動きはなかった。著者が中国の友人に尋ねると「初心をわすれるな、という。日本の侵略者と命を投げ出して戦って勝ち取ったのだから、忘れてはいけない」と。今回の杭州アジア大会でも響いていた。